



地域医療学センターの展望～これからの目標

自治医科大学 地域医療学センター センター長
総合診療部門・附属病院 総合診療内科
松村正巳（石川9期）

4月1日付けで自治医科大学地域医療学センター長を拝命しました松村正巳（まつむらまさみ）と申します。梶井英治 前地域医療学センター長から引き継ぎさせていただきました。



最初に地域医療学センター設立の歴史について触れておきます。へき地・離島等の地域医療を確保することを目的に設立された自治医科大学建学の理念をさらに充実させるため、1981年に地域医療に関わる教育・研修・研究を目的として地域医療学講座が開設されました。2004年には、地域医療学講座を発展させ、7部門からなる地域医療学センターの設置に至りました。地域医療学センターは「日本の地域医療に資する」を理念に掲げ、大学の根幹を担う教育研究施設として位置付けられ、初代センター長には高久史麿前学長が就任されました。現在は8部門体制（地域医療学部門、公衆衛生学部門、総合診療部門、地域医療政策部門、地域医療支援部門、東洋医学部門、地域医療人材育成部門、地域連携型医学教育・研修部門）で運営しています。

さて、自治医科大学が設立されてからの45年の間に、わが国の医療をとりまく環境は激変しました。超高齢社会を迎え、多臓器に疾患をかかえる患者は急増し、望ましい臨床医のあり方が問われるようになってきています。また「機能分化」を目指すこれからのわが国の医療システムにおいては「連携」が大きなテーマです。各自治体が効果的かつ持続可能な医療システムを構築する必要があります。この変化の中、地域医療学センターが果たすべき役割として、われわれは以下の行動目標を掲げています。

地域医療学センターの行動目標

1. 地域医療を担うことのできる医師育成
2. 地域医療の課題抽出と改善策の提言
3. 実効性のある保健事業や医療活動の創出
4. 地域医療学の体系化と実践

地域医療を担うことのできる医師育成は、本学ならびに附属病院の理念です。われわれはこれからの総合医育成のあり方を考慮しつつ、自身が医学生・研修医の良きロールモデルでありたいと思います。戦後、わが国の医療の進歩はめざましく、これが長寿社会の実現に貢献し、現在は超高齢社会と表現されるようになりました。これからの総合医育成のあり方においては、総合医育成の視点と、医療システムにおける機能分化・連携の視点から考慮する

必要があります。総合医育成の視点では、多臓器疾患を有する患者に対応できる医師へのニーズが増加しており、総合医の育成には幅広い分野での多彩な経験が可能なカリキュラム・プログラムが必要です。一方、三次医療機関は高度先進医療に特化するため、効率的な臓器別縦割体制になっております。実地医療では機能分化における連携をどのように行うかが、まさに問われています。これらの二つの視点において、相反する因子が生じてきています。その一つに総合医育成の場があります。つまり、一つの医療機関だけで、多彩な病態の経験、医療の継続性・近接性などを指導することは困難であり、さらなる医学教育・研修の場のネットワーク作りが必要になっております。地域連携型医学教育・研修部門は、新小山市民病院での4年生の臨床実習において、この課題に取り組み大きな役割を果たすようになってきています。また、4月からは内科学講座と総合診療内科が協働して運営する「内科総合病棟」がスタートし、臓器横断的診療の研鑽が可能な場の設定ができました。地域・都市部、医療機関の機能によって、総合医の果たす役割には相違が認められます。われわれは「機能分化と連携の時代における総合医の育成」において、本学卒業生・若手医師が十分に役割をはたせるよう、総合医育成のプロセスを発展させたいと考えています。

地域医療の課題抽出については、学外協力者とのネットワーク形成を充実させ、改善策を提言する機会を創出します。その中で実効性のある保健事業や医療活動の創出が可能であれば、着手したいと考えています。

これまで行ってきた地域医療に関する研究については、新たな視点で学外とのネットワークを構築しながら研究を行い、情報発信いたします。各部門独自の研究はもちろん、部門横断的に多彩な視点からの研究・情報発信が望ましいと考えています。さらに、地域医療学の体系化は、地域医療学センターにとって必須の課題であり、それを実践することを目標とします。

様々な事象が変化する中、これからの地域医療の構築にとって最も大切な鍵は「お互いを尊重し、なすべきことを考える」ということだと思えます。わたしたちは謙虚な姿勢でこれからの課題に取り組み、新たな提言をしたいと思えます。その基礎として調和のとれたわかりやすいセンター作りを目指します。

ご支援・指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

地域医療オープン・ラボNews Letter原稿募集

地域医療オープン・ラボでは、**自治医大の教員や卒業生の研究活動**を学内外へ発信するために、「自治医科大学地域医療オープン・ラボNews Letter」を定期的に発行しています。<http://www.jichi.ac.jp/openlab/newsletter/newsletter.html>

- ☆ 自治医大の教員や卒業生の研究活動をご紹介ください
- ☆ 自薦・他薦を問いません
- ☆ 連絡先：地域医療オープン・ラボ openlabo@jichi.ac.jp

[発行]自治医科大学大学院医学研究科
地域医療オープンラボ運営委員会

事務局 大学事務部学事課 〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1
TEL 0285-58-7477/FAX 0285-44-3625/e-mail openlabo@jichi.ac.jp
<http://www.jichi.ac.jp/dscm/>